

文教厚生委員会会議録（要点筆記）

平成24年8月21日（火）

午後2時30分 開 会

○小出義一委員長

ただ今より、文教厚生委員会を開会します。

初めに、前回山本委員から請求がありました児童虐待の通告件数について、当局から説明がありますので、よろしくお願ひします。

○江原子育て支援課長

【資料に基づき説明】

○山本博信委員

年度内の複数通告人数、2回や3回、5回という人もいますが、この措置はどうなっていますか。

○江原子育て支援課長

一番多いところで、23年度内に5回通告をいただきました。具体的には、母子家庭で、虐待の種類でいきますと、ネグレクトになっています。小学校の子どもさんですが、お母さんが朝ごはんを作ってくれなかったりとか、朝学校に起こしてくれなかったりだとか、衣服も毎日選択してあげなかったり、お風呂に入れないということで、学校の方から何回か通告をいただいてそれぞれ対応をさせていただきました。最終的に児相の方が保護が必要だということで、今も子どもさんは施設に入っていますというような状況です。

○山本博信委員

他の2回、3回はどのような状況ですか。

○江原子育て支援課長

多くの家庭の状況は、ひとり親、母子家庭が多いような状況です。虐待の種別でいきますと、すべてではありませんが、身体的な虐待、首から上のものというのは、比較的人命にかかる影響が高いということで、一時保護になりやすい状況になっています。一方、ネグレクト、育児放棄のことですが、こうしたものをみていくとお母さんがたまに朝ごはんを作らない。衣服が汚れたままになっているだけをもっては、なかなか保護にはならないというものがあまして、年度内に何度か通告をいただいてネグレクトの状態だと在宅のまま継続的な支援で子どものより良い育ちをしている。ということで複数回通告をいただいているというのが実態です。

○山本博信委員

保護するという時になった時の親御さんはどのような状況でしたか。

○江原子育て支援課長

以前、私も親御さんを連れて行きましたが、気持ちのうえで分かっているにもかかわらず実際にこれから施設にという時には、涙をボロボロという感じで、子どもも説明している時と説明していない時がありますが、説明していなくても、車の中でなんか雰囲気が変わって感じてお母さんに抱きついたような状況で、お母さんもそれを見て涙を流すということで、本当にやるせない思いをしながら施設に案内をしたことがあります。お母さんもなんとか家庭を立て直して一日も早く子どもを向かえ入れたい。子どももお母さんに早くという思いが最初はありますが、時間の経過とともに中には1か月に1回の面会が3か月に1回、5か月に1回と

というような親御さんもおみえになる状況です。ただ、子どもについては、施設がしっかりと子どもを育てて行きますので、心の問題としては大きな問題があると思いますが、問題なく過ごしていると感じます。

○小出義一委員長

それでは、閉会中の調査事項についてを議題とします。

事前に各委員の皆さんに子育て支援における課題、アンケート内容についてを提出していただいておりますので、順にご説明をお願いしたいと思います。

【資料に基づき説明】

○岩田玲子副委員長

【資料に基づき説明】

○中村宗雄委員

【資料に基づき説明】

○山内悟委員

【資料に基づき説明】

○久世孝宏委員

【資料に基づき説明】

○山田清一委員

【資料に基づき説明】

○小出義一委員長

山本委員は事前の提出はありませんでしたが、いかがでしょうか。

○山本博信委員

非常に難しい問題で、一般的な技術的な子育て、自分の人生、哲学に基づいた信念の子育てがあると思いますが、市として信念に係わる子育てには入ることは出来ないと思います。出来ることは子育ての技術。そういうものにしか入っていけないと思います。今の子育てをみてみますと、40代の女性がパチンコ屋へ行って殺してしまったなど、そういう状況をみると非常に強い先入観念を持っておられて、現実と全く違う、悩んで解決策なくあのような形になったと思いますが、もうひとつ言えば全く無知でどうしたら良いか分からない。ということで育児が上手くいかないという2つのケースがあると思います。私としては、子育ては技術的な子育てをしっかりとお母さんに伝える。その中から両親が持っている信念の子育てをしていただければ良いと思います。拠点づくりについては、半田市は結構やっていると思いますが、事件を起こしたりする方は多分そういう施策をしっかりとやっても参加していない人が多い気がしますので、施策にしっかりと参加していただくそのことがひとつのテーマになると私は思っています。

○江原子育て支援課長

【資料に基づき説明】

○小出義一委員長

皆様のご意見をいただきました。歩調をそろえてこれからの調査を進めていかなければならないと思います。まず、少子化、核家族化の進む中で家庭だけで子育てを支援することが難しく、また、いろんな問題もそこから発生しているという現状の中で、国の政策の中で子育て支援拠点を作ろうという推進があって、当市も少しずつこれについて、取り組んでい

ますが、まだまだ不十分ではないか。また、どのような展開でこれを進めていくかどうか、当委員会の閉会中のテーマとして取り上げて行きたいということで大きくまとめてよろしかったでしょうか。

【「はい」との声あり】

ありがとうございます。

中村委員から、少し違う視点でのご指摘がありました。④の何を持って良しとするのかというところは、非常に私も重要な観点であると思っております。まず、拠点づくりについて、拠点を作るという方向の中で問題整理をしていこうということについては、よろしいでしょうか。

○山本博信委員

まず、調査研究するために半田市がどういう施策をしているか、どういう成果をあげているのか、何が良くて何が足りないのか、そういう事をしっかりと把握したうえでやったらどうかと思いますが。

○小出義一委員長

それは、今までの委員会ですてきたつもりでしたが、ご意見がありましたので、当局の方から半田市のおこなっている政策について掻い摘んで説明をお願いします。

○江原子育て支援課長

子育て関係の施策ですが、17年度に作りました10年計画の次世代育成支援行動計画があり、これは7つの基本施策があります。安心して子どもを産み育てる環境づくりというものを目指して7つの基本施策にそった形でやらせていただいています。今回の地域における子育て支援の推進というの、そのうちのひとつに当てはまっています、保育園の既存のサービスを充実させるだとか、地域における子育て支援を展開していただくとか、そういったものが掲げられていますが、全体としては、次世代の計画の中に盛り込んだ内容になっております。昨年度は、総合計画の中で、子育て支援の推進ということで、子育てを地域で支え合えるような町づくりをしていこうというところも掲げさせていただいています。

○小出義一委員長

ほかにご意見はありませんか。

それでは時代背景もあり、子育てが非常に難しい環境の中で地域の子どもが地域で育てられるよう仕組みづくりのために、親子が安らげる拠点づくりについて、調査研究していくということで、そういった事業を行っているところを調査しながら、当市にあった運営方法について研究していくということでよろしいでしょうか。

【「はい」との声あり】

ありがとうございます。地域の子どもが地域で育てられるよう、親子が安らげる交流拠点づくりをするということで調査してまいりたいと思いますのでよろしくをお願いします。

アンケートについてですが、利用出来ない人に対する配慮が必要だという声がたくさんありました。保健センターの方で健診などで訪れる機会がありますので、そういった機会を通して働きかけが出来れば利用していない人に対しての補足が出来ると思いますので、工夫していただくことが出来ますでしょうか。

○江原子育て支援課長

保健センターの方では、健診で市民の方に来ていただいておりますが、長い期間を通せば、

より多くの方達が集まりますが、短い調査期間でもその期間にお越しいただく方を対象として、アンケートは出来るものと考えます。

○山内悟委員

この前もその議論をしましたが、期限を9月中までと切ったものだから、センターの利用者に限られたのであって、1か月健診だとか、半年の健診だとかそういう場でやればもっと広範で確実に出来る。少なくとも、センターやサロンなどの拠点に来る人以外にも手が届くだろうと思います。期間を延ばせば出来ると思います。

○小出義一委員長

そういった視点で、広く調査できるような対応をお願いしたいと思いますが、よろしかったでしょうか。

○大坪子育て支援部長

一度、保健センターの方に確認をとらないと。具体的にいつ健診があって、どのくらいの人に来るのか、上手にここ近々であって当てはまって調査が可能であればよいですが、時期的にずれてしまうと10月の視察前までにまとめるということが困難になるという気がしますので、一度保健センターの方に確認をします。委員の皆さんのお考えですと、利用していない人のニーズも掴む必要があるということですので、保健センターに来る人の調査は必要ということで、実施をしていく方向でやります。仮に視察の時期までにデータが集まらないということであれば、ある程度期間を切ってそこまでの分でとりあえず集計をとって、後は視察後になってもデータが集まった時点で最終的なまとめをしても良いかなと思いますが、いかがでしょうか。

○小出義一委員長

継続した対応をしていただくということが、必要と思いますので、今の部長の提案で行きたいと思いますが、よろしかったでしょうか。

【「はい」との声あり】

○久世孝宏委員

すみません。補足で保健センターだけではなくて、未就学の保育園の親ですとか幼稚園のお母さん達に過去の状況とかアンケートをとるやり方もあると思います。実際には課をまたがっての話なので可能かどうかわかりませんが、検討していただけたらと思いますがいかがでしょうか。

○大坪子育て支援部長

どのくらいの規模で出来るかわかりませんが、調査対象として考えてまいりたいと思います。

○小出義一委員長

より一層充実した調査になると思いますので、よろしくお祈りします。

半田市における子育て支援策における課題については、今回の親子が安らげる交流拠点づくりについて、地域で気軽に出来るような拠点のあり方について調査研究していくということで、これにともなって意識調査については、拠点施設を利用していない人の動向についても、注視していく必要があるということで、そういった視点を失わないように今回の意識調査についても多くの方の利用状況について把握して拠点づくりに役立てていくということでよろしかったでしょうか。

○久世孝宏委員

お願いで、委員の皆さんが必要なればいいですが、地域における子育て支援の推進について、親子が安らげる交流拠点づくりということが、目標になっているのですが、何故、親子が安らげる交流拠点づくりが必要なのかというところをなんとなく皆さんイメージは共有されていると思いますが、委員長の方で一度これだというものをまとめていただくことは出来ませんか。それがあった方がこれから進めやすいと思います。

○中村宗雄委員

子育て支援の必要性は皆さん共有していると思います。イメージや拠点づくりの必要性もなんとなく共有していますので答えみえています。本来、何のためにこれを行っているという子育て支援の目的は誰も言えないかも知れない。本当は少子化対策なのか、子育て支援を行っているから親の育てる力が減って来ているのかよくわからない世界の中で、必要性はわかっているけど、それを何のためにやっているかという所をまとめるのは無理じゃないかと思う。

○久世孝宏委員

今回の親子が安らげる交流拠点づくりを何のために作るかという、子育て支援の少子化という所まで遡らなくても、少なくとも児童虐待などが増えてきている中で、相談する場所があるとか、そういうような共通の言葉が、ここに出てきている皆さんが感じているようなことをまとめてもらうくらいなので、深く掘り下げていくと凄いことになると思いますが。

○小出義一委員長

本当は私がしっかりまとめて提出させていただくと混乱がなかったのかなと思いますが、子育て支援課長がしっかりとまとめてくれていますので、それを代用してくださいと私の立場から言いませんが、非常に良い視点でとらえていると思っていますが。

○久世孝宏委員

それでは、この当局の資料でいくということです。

○小出義一委員長

当局の資料だから嫌だといことではなくて、良くまとめてくれていると、ここを直してということも無く、使っていけるものだと思っています。

○山本博信委員

議員それぞれ事実の認識の仕方も違うし考え方も違う、どうしたら良いかと方策論も違うわけで、それぞれがそういうように思った中で最後に委員会報告に反映するという調査ですから、そういうものをそれぞれ持ってやればよいと思います。

○小出義一委員長

方向が180度変わっては、見に行く所も全然違うし調査目的もなんだったかと言われると語弊がありますが、概ね一緒ならいろんな目で見ながら柔軟に意見を闘わせながら良いものを選択していきたいと思っています。

○久世孝宏委員

皆さんがそれでいこうと言うならよいですが、いろんな発想として自由な意見が出てくることは、そうあるべきだと思いますが、少なくとも課題認識が共通になっていないと発想もいろんな所に行き過ぎてしまうので、そういう提案をさせていただきました。

○小出義一委員長

そういった議論も深めながら進めてまいりたいと思います。不明な点はしっかりと行

きたいと思いますが、とりあえず子育て支援における課題として親子が安らげる交流拠点づくりをしていく、地域の子どもは地域で育てられるようにという視点を持ちながら、進めていくということによろしかったですか。

【「はい」との声あり】

はい。また大きく違っているようでしたら、それについて議論していきたいと思います。

それでは、今の課題の認識に基づいて進めてまいりたいと思います。今後、視察先を選定して予定を組んでいきたいと考えていますが、前回までに報告させていただいた時点で厚生労働省にも案内を出しておりますということでありましたが結果をいただきました。委員の中から提案いただいたものと同じ提案もありました。ひとつは「あい・ぽーと」という東京港区青山の施設です。もうひとつは横浜の「どろっぷ」という所ですが、今までの所と合わせて進めていきたいと思いますがよろしいでしょうか。

【「はい」との声あり】

ありがとうございました。視察先、行程等について決定しましたらご連絡させていただきます。また、視察先に送付します質問事項について皆さんのご意見がありましたら、9月中旬を目途にお知らせいただきますようよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。それでは予定しておりました議題はすべて終了しましたが、ほかに何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、本日の委員会はこれで閉会します。

終了 午後 3時22分